きたすま

この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く（マルコ１・27）

No.175（２月号）
2018年 1月27日発行
発　行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1
発行人　高橋　聡
編　集　広報委員会

「世界病者の日」(2/11)教皇メッセージ

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

教会は、主の命令（ルカ9･2-6、マタイ10･1-8、マルコ6･7-13参照）に従い、教会の創設者であり師であるかたの力強い模範に倣いつつ、新たな熱意をもって病者と彼らをケアする人々のためにつねに尽くさなければなりません。

今年の「世界病者の日」のテーマは、イエスが十字架上でご自分の母マリアとヨハネに向けて語ったことばからとられています。「『ごらんなさい。あなたの子です…見なさい。あなたの母です。』そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った」（ヨハネ19･26-27）

1. この主のことばは、十字架の神秘を根底から照らします。それは絶望的な悲劇を示しているのではなく、イエスが栄光を現し、キリスト教共同体とあらゆる信者の生活を築くための基準となる、至高の愛の意志を伝えた場を表しています。

まず最初に、このイエスのことばは、全人類の母となるというマリアの召命の原点です。マリアは御子の弟子たちの母となり、彼らとその旅路に心を配ります。ご存じのように、息子や娘に対する母の思いやりには、心身の教育のすべての要素が含まれます。

十字架による言語に絶するイエスの苦しみは、マリアの心を刺し貫きましたが（ルカ２・35参照）、マリアを行動不能にしたわけではありません。それどころか、マリアは主の母として、献身という新しい道を自ら歩き始めます。イエスは十字架上から教会と全人類のことを気遣い、マリアはその思いを共有するよう招かれます。使徒言行録は、五旬祭に聖霊が豊かに注がれたときに、マリアが初期キリスト教共同体の中でその使命を果たし始めたことを、わたしたちに伝えています。その使命は決して終わることがありません。

2. 愛された弟子ヨハネは、救い主の民である教会を表します。ヨハネはマリアを自分自身の母と認めるよう求められます。その際、ヨハネはマリアを受け入れ、たとえ不安や企てが生じても、マリアの中に弟子の模範とイエスから託された母としての召命を見いだすよう招かれます。マリアは愛する母であり、イエスに命じられたように愛することができるよう子らを導く母です。し

たがって母としてのマリアの召命、子らを気遣うという召命は、ヨハネに、そして教会全体に伝わります。信者の共同体全体は、母としてのマリアの召命と深くかかわっています。

3. あらゆるものをイエスと分かち合っていた弟子ヨハネは、イエスがすべての人を御父との出会いへと導きたいと願っていることを知っています。思い上がりに心を捕らわれたり（ヨハネ８・31－39 参照）、からだが病に侵されたり（ヨハネ５・６参照）したために、心を病んでしまった多くの人がイエスと出会ったことを、ヨハネはわたしたちに伝えています。イエスはみ国の豊かないのちのしるしとして、すべての人にいつくしみとゆるしを与え、病者にからだのいやしをもたらしました。み国では涙はことごとくぬぐわれるのです。弟子たちはマリアのように、互いを思いやるよう招かれていますが、それだけではありません。イエスの心が一人残らずすべての人に開かれていることを弟子たちは知っています。み国の福音をすべての人に告げ知らせ、キリスト者の愛を困窮しているすべての人に届けなければなりません。なぜなら、すべての人は人間であり神の子であるからです。

4. 二千年にわたる教会の歴史の中で、困窮している人と病者に対する教会の母としての召命は、病者のために尽くす活動を重ねる中で実践されてきました。この献身の歴史を忘れてはなりません。この歴史は今日でも、全世界で続いています。公的医療制度が適切な形で機能している国では、修道会、教区、カトリック系の病院は充実した治療を施すよう努めるだけでなく、人間を中心とした治療を行い、いのちとキリスト教的倫理観を尊重した科学研究を行うよう努めています。医療制度が不十分であるか欠如している国では、教会は幼児死亡率を下げ、伝染病の拡大を阻止するために、人々に出来るだけ充実した治療を行うよう努めています。教会は、たとえ治療を行う立場にいなくても、あらゆる場所で人々のことを気遣っています。ひん死のけが人をすべて受け入れる「野戦病院」という教会のイメージは、実際に現実のものとなっています。宣教会や教区の病院だけが人々に必要な治療を施している地域が世界中にいくつもあるのです。

5. 長い歴史の中で病者のために奉仕してきたという記憶は、キリスト教共同体、とりわけそうした活動を実際に行ってきた人々に喜びをもたらします。しかし、自分自身をさらに豊かにするためには、とりわけ過去に目を向けなければなりません。病者に奉仕する多くの団体の創設者に見られるどんな犠牲もいとわない寛大さ、何世紀も続いてきた数々の取り組みがもつ愛に基づく創造性、信頼のおける革新的な治療を病者に施すために科学的研究を行う熱意といった、過去の事柄からわたしたちは学ばなければなりません。この過去の遺産は、未来をしっかりと設計する

ための助けとなります。それはたとえば、医療を営利目的の事業にし、貧しい人々を切り捨てようとする企業利益優先主義という世界的な脅威からカトリック系の病院を守るためにも役立ちます。病者の尊厳を尊重し、病者を中心とした治療をつねに行うことは、組織がより賢明になり、愛のわざが行なわれるために不可欠です。公的機関で働き、自らの行いを通して福音のよいあかし人となるよう招かれているキリスト者も、同じ方向をたどるべきです。

6. イエスはご自分のいやす力を、教会に与えてくださいました。「信じる者には次のようなしるしが伴う。……、病人に手を置けば治る」（マルコ16・17−18）。使徒言行録には、ペトロ（3・4−8参照）とパウロ（14・8−11参照）がいやしのわざを行ったことが記されています。教会の使命は、イエスからのこの贈り物に応えることです。教会は、主のように優しく思いやりに満ちた視線を病者に向けなければならないことを自覚しています。医療にかかわる司牧活動は、小教区の共同体から最先端の医療機関に至るまで、皆が新たな熱意をもって携わるべき必要不可欠な使命でしたし、これからもそうあり続けるでしょう。慢性疾患や重度の障害を抱えた子どもや親、親戚を介護している多くの家族の優しさと忍耐強さを、わたしたちは忘れることはできません。家庭内で行われる介護は、人間に対する愛の卓越したあかしであり、正しい認識と適切な政策によって支えられなければなりません。したがって医者、看護師、司祭、修道者、ボランティアの人々、家族、そして病者をケアするすべての人がこの教会の使命に携わっています。それは、各自の日々の奉仕をさらに有意義なものにする共同責任です。

7. いつくしみの母であるマリアに、わたしたちは心身に病を抱えたすべての人をゆだねます。マリアが希望のうちに彼らを支えてくださいますように。また、病気で苦しんでいる兄弟姉妹を受け入れることができるよう、マリアがわたしたちを助けてくださいますように。教会は、病者のケアという福音的奉仕には特別な恵みが必要であることを知っています。だからこそ、わたしたちは一つになって聖母に祈りをささげ、人々のいのちと健康のために奉仕するという召命を、すべての信者が愛をもって生きることができるよう、心から願い求めるのです。この第26回「世界病者の日」にあたり、病者が主イエスとの交わりのうちに苦しみを受けとめることができるよう、おとめマリアがその取り次ぎを通して助けてくださいますように。また、病者をケアする人々をマリアが支えてくださいますように。わたしは病者、医療従事者、ボランティアの方々、そしてすべての人に心から使徒的祝福を送ります。

バチカンより　2017年11月26日　王であるキリストの祭日　フランシスコ

新成人おめでとうございます

Ｍ Ｋくん（4 地区） Ｔ Ｈさん（6A 地区）

１月７日のミサの中で、記念の品を祝福してお届けしました。

寄稿　「母を亡くして」

８月に お母ちゃん。
12 月に お姑さん。
そして
同じ 12 月。
小学校３年と６年を 担任して下さった シスターが帰天。

シスターの所には ちょくちょく 会いに行っていた。

母 と 呼べる人を 全部 亡くしてしまった 。

お母ちゃん て いったい なにやろ？
ただの １人の 女やのに、お母ちゃん と言うだけで、
なんか 特別な 感じがする。
変なことも する。
イケズやったり、喧嘩 売買したり。
その いやらしさを見て ウンザリした事も 度々 あった。
それやのに。

自分の子どもに 置き換えて考えてみたら、
どんなに 叱られても また 甘えられる、
どんなに叱り飛ばしても また 付いてきてくれると思ってる、
「その 愛を 信じて 疑わない人」

お姑さんとも よく喧嘩したし くそババアやと思ってた。
でも 最後は 愛されててんな！ って思えるようになった。

この人は 愛したかったんや！と 思うのよ。

どんな思いで生き、
どう在りたかったのか？
人生を どう受け止めていたのか？
そして
私を どんなに愛してくれていたか！

３人の母を亡くした 今。
それぞれの ステキなところを
今度は 私が バトンタッチ！（願わくは ステキなとこだけ）

精一杯 お母ちゃんを 生きよう！と 思う。

将来の夢 「日本一の お母ちゃん」 と
小学校の卒業文集に書いた
世界でたったひとりの お母ちゃん。

ＹＳ

２０１８年２月・典礼奉仕担当者表　(敬称略)

典礼委員会

日 時　主日	司式者	先唱者	オルガン	聖体奉仕	聖書朗読	答　唱	共同祈願	ミサ準備	備　考
2･4(日) 10時 年間第５主日	Fr. 高 橋	ＨＫ	ＴＫ	ＮＳ (南)	①ＭＳ ②Sr.前田	ＩＴ	6A 地区	Ｋ・Ｔ (洗) ＹＭ	
2･10(土)18時30分 年間第６主日	Fr.　申	ＨＴ	ＴＹ	ＨＫ (北)	①ＭＪ ②ＭＮ	Ｙｓ	6A 地区	ｋ・ｔ (洗) ＹＭ	
2･14(水)10時 灰の水曜日	Fr. 高 橋	ＹＳ	ＴＹ	ＨＴ (南)	①ＹＹ ②Ｙｓ	ＭＳ	評議会 グループ	Ｋ・ｔ (洗) ＹＭ	
2･18(日) 10時 四旬節第１主日	Fr.　申	ＫＫ	Ｙｓ	ＹＫ (北)	①ＫＭ ②ＴＹ	ＨＫ	１・４ 地区	ｋ・ｔ (洗) ＹＭ	黙想会
2･25(日) 10時 四旬節第２主日	前田大司教 Fr.　申	ＩＭ	ＴＫ	――	①ＡＭ ②Ｉ　Ｔ	Sr.前田	１・４ 地区	Ｋ・ｔ (洗) ＹＭ	

担当に変更のある場合は、お聖堂入口の掲示表を赤ボールペンでご修正下さい。

評 議 会 よ り

・教会にもお年玉を!!

年々維持費が減っており、今年度も 40 万円余りの赤字予想となっております。３月末までに 6%(0.7 ヵ月分)ほどの臨時献金を戴けませんでしょうか。

よろしくお願いいたします。

お　知　ら　せ

・帰天されました

１月６日　ステファノ ＨＳ さま

永遠の安息とご遺族の平安をお祈りします

・お元気で

小さきイエスのテレジア ＴＭ さま

(4 地区)　兵庫教会へ

・ようこそ北須磨へ

アグネス ＳＭ　さま

姫路教会から　6B 地区(井吹台)へ

・地区養成研修会

「右近のいつくしみに倣う」

“寄り添いの人となろう”

２月 12 日(月･祝) 13 時～16 時

神戸中央教会

Ｈまで(当日参加可)

・福者ユスト高山右近殉教者 列福１周年記念ミサ

２月３日(土) 14 時～

大阪カテドラル聖マリア大聖堂

編　集　後　記

寒い日々が続いています。今月の巻頭言は高橋神父さま風邪のため、教皇様の「病者の日」メッセージを掲載しました。

“ひん死のけが人をすべて受け入れる「野戦病院」という教会のイメージ”は 23 年前の震災の記憶と重なります。病者のみならず全ての弱者のために主のいつくしみを伝える者となれますように。

(KJH)

マンスリースケジュール2月

日・曜日　　2018

2/1	木		卓球（13～17）	
2	金			主日の聖書を読む会（14:30～）
3	土	教会清掃(第6A地区)	英語クラブ（14～16）	ロザリオの祈り(16:15～)
4	日	年間第5主日　ミサ10：00～	社会活動委員会9:15～	典礼委員会
5	月		卓球（13～17）	
6	火	ミサ10:30～	病者高齢者訪問（13:30～）	
7	水			
8	木		オカリナ(13～15)卓球（13～17）	
9	金			主日の聖書を読む会（14：30～）
10	土	前晩ミサ　18：30～　教会清掃なし	英語クラブ（14～16）	ロザリオの祈り（16：15～）
11	日	年間第6主日		
12	月		卓球（13～17）	
13	火	ミサ10:30～　信仰講座11:00～	社会活動センター炊き出し(9：30～)	
14	水	灰の水曜日　10:00～	右近と共に歩む旅(14:00～)	
15	木		病者高齢者訪問（13:30～ 卓球（13～17）	
16	金		十字架の道行(詳細未定)	主日の聖書を読む会（14：30～）
17	土	教会清掃(第1・4地区)	英語クラブ（14～16）	ロザリオの祈り(16:15～)
18	日	四旬節第1主日　ミサ10：00～	四旬節黙想会	
19	月		卓球（13～17）	
20	火	ミサ10:30～		
21	水			
22	木		オカリナ(13～15)卓球（13～17）	
23	金		十字架の道行	主日の聖書を読む会（14：30～）
24	土	教会清掃なし	広報委員会10～	ロザリオの祈り(16:15～)
25	日	四旬節第2主日　ミサ10:00～	前田大司教司式	高齢者支援委員会　9:15～
26	月		卓球（13～17）	
27	火	ミサ10:30～　信仰講座11:00～		男の料理教室（17～）
28	水			
3/1	木		卓球（13～17）	
2	金		十字架の道行	主日の聖書を読む会（14：30～）
3	土	前晩ミサ　18：30・教会清掃（第2地区）	英語クラブ(14～16)	ロザリオの祈り(16:15～)
4	日	四旬節第3主日		

★今月のお茶当番は第1・4地区です★

通夜葬儀緊急連絡先　080-4483-2507（T）　080-4484-2508（S）

カトリック北須磨教会ホームページ http://cathkitasuma.web.fc2.com